2025年8月3日(日)

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット(ユニットC) オンライン研修「多様性が活きることばの教育2025」 研修A 多様な言語的文化的背景をもつ高校生のための学習環境づくり 第3回 学習環境としてのコミュニティのデザイン

湊川高等学校における「日本語指導」の取り組み

2年目の実施状況



公式キャラクター「みなふく」

兵庫県立湊川高等学校(定時制) 日本語指導コーディネーター 金子 大樹 教科 朝鮮語、保健体育

本資料の利用について

教育・研修を目的とした利用に限ります。資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」 「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトのURL」を明記して利用してください。部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。

自己紹介

金子 大樹(かねこ だいき) ← 金 大樹(キン テス)

- 担当教科 朝鮮語、日本語、保健体育
- ・校務分掌 担任(3年生)、生徒指導部、日本語指導コーディネーター
- · 日本語教師養成講座修了(R6.3月)

本日の内容

- 1. 湊川高等学校の特徴
- 2. 外国にルーツをもつ生徒の状況
- 3. 「特別の教育課程」の実施状況・導入までの経緯
- 4. 「特別の教育課程」の日本語指導計画・内容
- 5. 「特別の教育課程」の評価
- 6. 「特別の教育課程」以外での学校としての取り組み
- 7. 今後の課題と成果

1. 湊川高等学校の特徴

3修制と4修制

ドリカムコース(3修制)

完全給食

朝鮮語

通級による指導





1. 湊川高等学校の特徴(教育課程)

					令和	7年	度入学生	教育 課権	呈表(案)			
1 # #	規代の開発	소	数学	科学と人間生活 3.1000円 1.1000円 1.1	体育	保健	美 练 C I	家庭原	15 00 1	総合的な様式の解	1	令 和 7 年 夏
2 年 生	言 語 文 化	地理技术会	数 学 【	生物质质	体育		保護工	報 展 高 明 (実質)	蘇聯。	総合的な探索の終	本 化 東 東 東 東 東 東 東 東 東	令 和 8 年 度
3 # #	3 9 8	: I	原文技会	數学人	物理系統	体育	雄 様 ・ 様 様	情報处理(実習)	美国 解 解 解	機会的な振覚の時	高	令和9年度 (
4 ¥ c.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	政 治 · 経 済	数学品	化学基礎	体 有 4	t t	雷美 端 湖町 山 開	ビジキス基礎	ン フ ト ウ エ ア 湯	機合的な探究の時間	4修制 1限~4限 まで	令 和 1 0 年度

3修制 O限~4限 まで

0 限	16:05~16:50
給食	16:50~17:10
SHR	17:15~17:25
1限	17:25~18:10
2 限	18:15~19:00
3 限	19:05~19:50
4 限	19:55~20:40

1. 湊川高等学校の特徴(生徒の様子)

- I~3学年は2クラス、4学年はIクラス。生徒数 IOI名
- 発達障害又はグレーゾーンで支援が必要な生徒が在籍
- 不登校経験者多数在籍(R6年度は入学生のうち、約62%が不登校※年間30日以上の欠席)
- ・以前から外国籍生徒は一定数在籍しているが、「特別の教育課程」 実施後からは日本語指導を希望する外国籍生徒が増加傾向。

ユニバーサルデザインの視点を意識したわかりやすい授業への取り組みを全教員で行っている。

2. 外国にルーツをもつ生徒の状況(在籍状況)

学年	韓国朝鮮	ベトナム	中国	ネパール	フィリピン	ミャンマー	パキスタン	合計
1			1	1	<u> </u>	1	<u> </u>	5
2	I	1		1				3
3								0
4								0

- ※「特別の教育課程」対象生徒は4名。|年生3名、2年生|名。
- ※対象生徒4名のうち、1年生の2名は日本の中学校を介さずに

入学

2. 外国にルーツをもつ生徒の状況(日本語習得状況)

	聞く	話す	読む	書く	在留期間 (カ月)	保護者の状況
生徒①	С	С	С	С	25	С
生徒②	D	D	D	D	8	С
生徒③	С	С	D	С	9	С
生徒④	В	В	С	С	17	С

※状況の目安 A~D

DLA評価による 令和7年4月16日実施

・聞く・・・ 教員の言うことについての理解度・話す・・・ 意思の伝達について

・読む・・・教科書の内容の理解度・書く・・・授業中に教科書の学習内容を書く

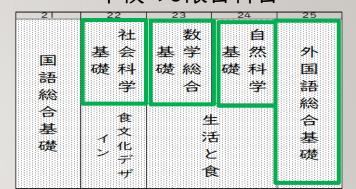
本校の0限目科目

- ・令和6年度から実施。
- · | 年次は<mark>4単位分</mark>置き換え(週4時間)
- ・2、3年次は2単位分置き換え(週2時間)

日本語指導に関わる校内組織

日本語指導推進委員会 校長、教頭、日本語指導コーディネーター(I名) 授業担当 国語科(2名)、外部支援員(I名)

外部支援員·・・・R7年度は特別非常勤講師として年間38時間派遣。 日本語指導の経験者より日本語の学習支援や指導 法についての助言をいただいている。



21 22 23 24 25 数 数学 数学 総合 食品衛生

2年次

年次



3 年次

3. 「特別の教育課程」の実施状況(導入までの経緯)

導入の背景

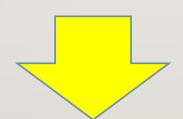
① 環境要因

兵庫県の定時制高校では定員割れの状況が続いており、日本語能力が十分でない外国 ルーツの生徒の入学者数が増加 →しかし、その中には途中で退学する生徒、進級できない 生徒、日本語が上達しないまま卒業していく生徒がいたこと。

- ② 人的要因
 - ・日本語指導ができる教員(日本語教師養成講座修了)の存在。
 - ・その他の先生方も非常に協力的であること。

3. 「特別の教育課程」の実施状況(導入までの経緯)

- ③ 外部要因
 - ・神戸市長田区には外国人の生活を支援する環境・連携先が整っている。
 - ※神戸定住外国人支援センター(KFC)、神戸国際コミュニティセンター(KICC)
 - ・定住外国人が多く、外国人労働者数が過去最高となっている。ベトナム国籍が最も多いが、近年はミャンマー、ネパール、インドネシアの外国人労働者が増加している。



以上3つの要因が経緯としてあげられるが、最も大きな要因は<mark>一人ひとり</mark> <mark>の生徒を大切にしよう</mark>という学校全体としての思いである。

3. 「特別の教育課程」の実施状況(対象生徒の把握とその後の流れ)

- 3月・入試(特別措置)の結果から学習能力を確認
 - ・合格者説明会・・・担当者より日本語指導について説明。 合格者全員を対象に入学時言語調査を実施。入学時言語調査の結果と事前情報をもとに、 説明会終了後に日本語指導の希望について別室で面談。
- 4月 事前評価(アセスメント)
 - ・新入生三者面談・・・日本語指導の希望者に再度、日本語指導「特別の教育課程」についての 詳しい説明や、学校生活に向けての不安などを聞き取り、教員間で情報共有。
 - ・入学式・・・入学後は担任による全員面談
 - ・「特別の教育課程」初回授業にてプレイスメントテスト

【補足資料】入学時言語調査(一部抜粋)①※入学者全員に配布

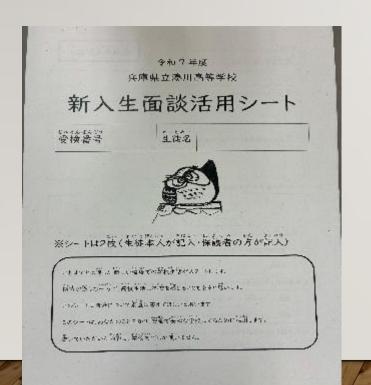
2025年3月19日 添川高等学校 入学時言語調査 (養機裁責) **文面:** 調査の目的: さまざまな言語や文化をもつ生徒たちの指導・支援に役立てるため。 Purpose of the survey: To help teach and support students with various languages and cultures. 1 あなたは日本語指導に興味がありますか。 あなたのことを書いてください。 1) 海外に住んでいたことがある 「はい」の人は何歳から何歳まで海外にいましたか 「はい」の人はどこの国に住んでいましたか 日本語について、あなたにあてはまることを選び 〇 で面ってください。 日本語を聞いても、わからないことがある (とてもそう思う ・ そう思う ・ どちらかというとそう思う ・ そう思わない ・ "至く思わない) 日本語をうまく話せない (とてもそう思う ・ そう思う ・ どちらかというとそう思う ・ そう思わない ・ "至く思わない) 日本語を並んでもよくわからないことがある (とてもそう思う ・ そう思う ・ どちらかというとそう思う ・ そう思わない ・ "至く思わない) 日本語を書くことが苦手である (とてもそう思う ・ そう思う ・ どちらかというとそう思う ・ そう思わない ・ 全く思わない)

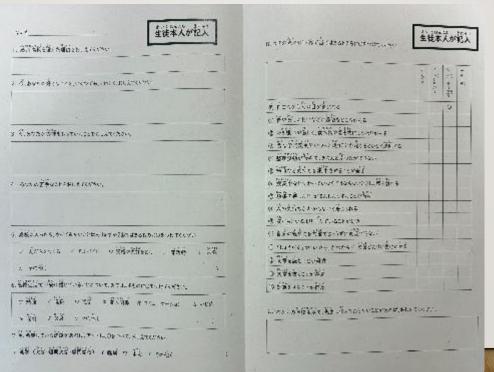
【補足資料】入学時言語調査(一部抜粋)②※入学者全員に配布

```
『ずの質問を読んで、()に
に
チェックしてください。
Please read the questions below and check v in parentheses ( ).
4 あなたが家で使っている言語は何語ですか。二つ以上使う人は、ぜんぶ教えてください。
    What language do you use at home? If you use two or more, please tell us all of them.
   A) ( ) 日本語 / Japanese
B) ( ) 韓国朝鮮語/Korean
C) ( ) 中国語 / Chinese
D) ( ) 英語 / English
E) ( ) タガログ語 / Tagalog
F) ( ) タイ語 / Thai
G) ( ) ベトナム語 / Vietnamese
H) ( ) ネパール語 / Nepali
    D その他/Others(
5. あなたは、深く「考える瞬(例:天切なことを考える時、本を読む時など)、何語で考えますか。
    When you think deeply (e.g., when you think about important things, when you read a book, etc.), in what language(s) do you think?
   A) ( ) 日本語 / Japanese
B) ( ) 韓国朝鮮語/Korean
C) ( ) 中国語 / Chinese
D) ( ) 英語 / English
E) ( ) タガログ語 / Tagalog
F) ( ) タイ語 / Thai
G) ( ) ベトナム語 / Vietname
             )ベトナム語 /Vietnamese
               )ネバール語 /Netali
    D その他/Others (
```

3. 「特別の教育課程」の実施状況(対象生徒の現状把握)

- ・プレイスメントテスト(筑波日本語テスト集TTBJ)を実施。(R6年度)
- ·DLAの見取り···導入会話·語彙カチェック·教室用語など。(R7年度)
- ・中学校からの引継ぎ資料(国籍、来日時期、家族構成、学習歴など)。
- ・新入生面談活用シート(生徒本人と保護者も記入のうえ三者面談)。







https://www.mext.go.jp/a/menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm

4. 「特別の教育課程」の日本語指導計画・内容

日本語指導の授業内容・使用教材

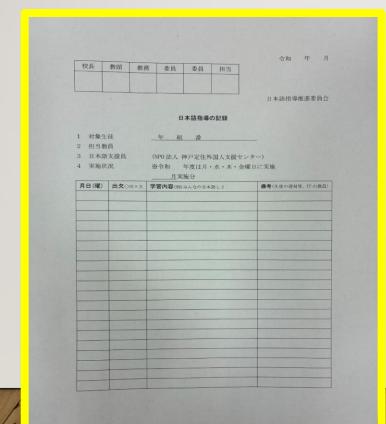
年次	目標・内容	使用教材
I 年	☆目標→初級文型の理解。学校や日常生活で必要なコミュニケーション能力の育成。 ・教室用語 ・対象生徒のレベルに沿って教科書の内容を単元別に学習。 語彙の学習、基本文型を理解し、日常生活で実際に使えるように練習する。	・みんなの日本語初級 I ・みんなの日本語 文型練習帳 ・みんなの日本語 標準問題集 ・みんなの日本語 初級から読めるトピック
2年	☆目標→初級から中級への上達。JLPT(N4)合格 ・初級後半に入り、やさしい文型から難しい文型へ、単純で具体的な場面から複雑で抽象的な場面での会話を学ぶ。 ・JLPT対策を授業と並行して行う。	 ・みんなの日本語初級Ⅱ ・みんなの日本語 文型練習帳 ・みんなの日本語 標準問題集 ・みんなの日本語 初級から読めるトピック ・必ずできる!初級「読解」入門 ・JLPT対策用テキスト
3年	☆目標→卒業後の進路に向けて日本語能力を向上。 JLPT (N3、N2)合格 ・内容については検討中	・JLPT対策用テキスト

5. 「特別の教育課程」の評価

評価方法・・・授業中の観察による評価。各授業担当教員が毎回授業の様子を記録。

授業中の成果物による評価。年度末に筑波日本語テストによる評価。

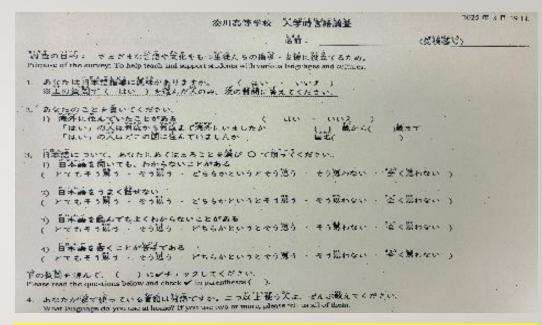
→ 学年末の進級判定会議にて校長が単位認定。

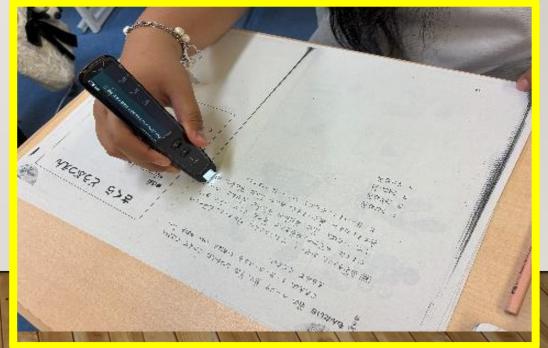


日本語指導の記録								
I 年 2 組 I	番	生徒名						
指導時数		4時間/週 指導の期間中の合計 93時間/101時間						
指導の期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年2月13日							
指導の目標	卒業後 能力の	卒業後を見据え、日本の社会で生活するための、日本語でのコミュニケーション 能力の向上や日本語能力試験の合格を目指す。						
指導の内容	 テキストは「みんなの日本語初級I」を使用し、基本的な語彙や文法の理解、会話の練習を通じて、「読む・聞く・書く・話す」の4技能をまんべんなく伸ばせるように指導する。 「学期 みんなの日本語 LI~LI3 2学期 みんなの日本語 LI4~LI9 3学期 みんなの日本語 L20~L21 特別非常勤講師として KFC (神戸定住外国人支援センター) より年間 16 時間、わかりやすい日本語を通じて会話の練習や成果物の確認をしていただいた。 							
指導の成果	続合スコ 合スコ 初級文: ● 徐 さまざ	コアが22であった。 アが42、漢字力の機 法の問題では正答率が 々に日本語が上達して まなことを伝えらるよ	いく中で、家族のことや自国の文化についてなど、					

6. 「特別の教育課程」以外での学校としての取り組み

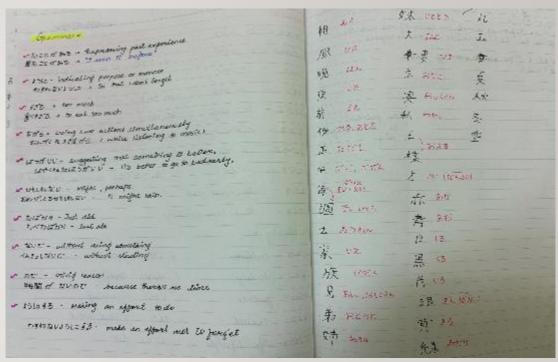
- ① 入学時言語調査
- ② 多文化共生サポーターによる母語支援(月4回) 県教育委員会人権教育課より1名派遣
- ③ 生徒保護者向け配布資料のルビふり (授業プリントを含む)
- ④ スマホでの翻訳アプリ等使用を許可(授業中を含む)
- ⑤ 定期考査の問題用紙と回答用紙のルビふり
- ⑥ 定期考査では<mark>翻訳ペンシル</mark>の使用を許可
- ⑦ パワーポイントの翻訳機能を活用
- ⑧ 校内教員研修「やさしい日本語」実施

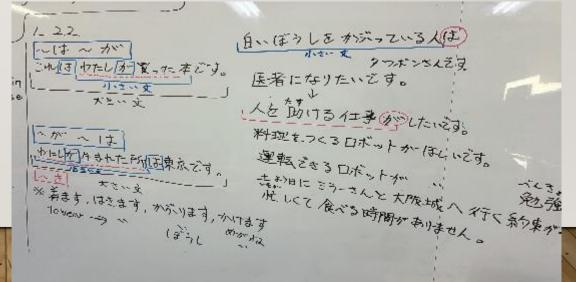




「特別の教育課程」日本語指導授業の様子







7. 今後の課題と成果

課題①「特別の教育課程」

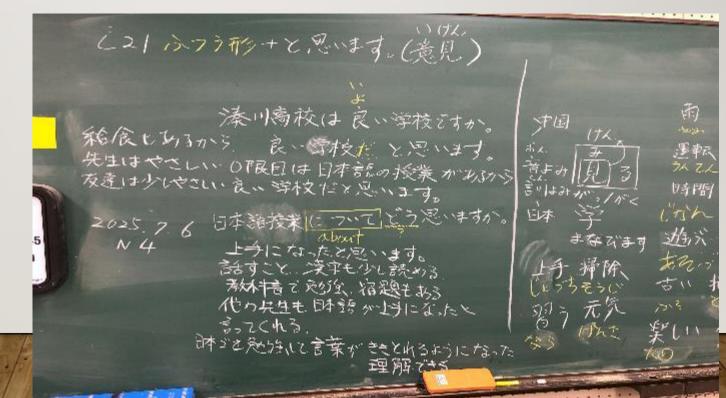
・複数担当者体制の充実・・・担当者同士の情報共有。日本語と置き換える授業時間数を増やしたいが、 担当者不足。来年度以降の入学生で、日本語指導を希望する生徒がさらに増え た場合に対応が難しい。

課題②「学校全体としての課題」

- ・教科支援の充実・・・教科との連携まで至っていない。教員による意識の差。生徒の困難さへの理解不足。 教員間での情報共有。総合的な探求の時間やHR、学校行事で困難が多い。
- ・日本人生徒との関りが苦手な生徒が多い。
- ・来年度、本校からは初めて「特別の教育課程」を実施した生徒の進路指導。

7. 今後の課題と成果

- ・入学時と比べると確実に日本語能力が向上している。
- ・概ね欠席することなく、登校できている。
- ・自身の将来を見据えて、JLPT受験に向けて自分の課題へ取り組み始めた。
- ・夏休み期間中も志願して、日本語の学習に意欲的に取り組んでいる。



7. 今後の課題と成果

今後へ向けて

- ・教員間での情報共有を充実させる(日本語指導の進捗状況などを全教員で把握)。
- ・生徒間での異文化理解の促進(お互いの母語、文化、生活を大切にする態度の育成)。
- ・日本語指導力の向上(全担当者で研修を実施)。
- ・より持続可能な日本語指導の体制づくり。



